

2013

52

巳年は物事が新しく始まる年。
金運・家内安全などの福を呼び込むそうです。
こんなかわいい白へびちゃんなら
本当に「良きこと」を運んできそうですね。

亀城福祉だより



亀城小6年 百瀬 玲緒さん



飛べ飛べ パラシュート

(亀城小ふれあい交流会9月28日)

ご長寿さん こんにちは

佐藤喜栄子さん
(千石町)
大正11年3月15日生

佐藤さんは今年91歳、チョコレートとお笑い芸人が出るテレビ番組が大好きです。子どもの頃の思い出をとお願ひしたら、こんなお話を聞かせていただきました。

幼稚園児保護者会だったか。大きくなったら何になると先生が全員に発表させた。女の子は、お嫁さん・がが・うまちゃ(※二つとも母ちゃんの意)になりますと、少し恥ずかしげに身体をひねり下を向いて言っている。(ちなみに私はうまちゃんになると言った)男の子はだだ・だだちゃ(※父ちゃんの意)になりますと元気な声で発表した。すると中に「たよ様(神官)になります」と発表した男の子がいる。今の言葉で言えば「ワー！すごい!!」と思った。何十年か過ぎた同級会で「あんたはすごいね、あの時たよ様になると言ったね」と言ったところ神官の息子だった彼は「それや、二百三高地頭(※日露戦争時、ロシアの二百三高地を占領した時に流行した髪型)の担任、中里先生にそう言えって言われだなや」…そうか納得、「ワー！すごい!!」は泡と消えた。

わが町は亀城学区内では、比較的新しい町です。一人暮らしや老人だけの世帯、家族がいても日中一人になる方達が増えつつあります。地域や隣近所のつながりが希薄になってきています。そんな人達を対象に「いきいきサロン」を開催しています。お茶とおしゃべりを中心に、今回は「だ

緑のジャンパーは安全と安心のしるし



町内遊歩道をみんなで清掃



きた事に感謝です。これからも地域の皆様の要望に添えられる様に、どなたでも気軽に参加できる事を基本にして、あったかい「いきいきサロン」を心がけていきたいと思っています。



まされません悪徳商法 かしこい消費者になりましょう」と題して、消費生活センターの出前講座を開きました。世相にマッチし、実生活に役立つタイムリーな講座で好評でした。民生児童委員、福祉協力員、自治会役員等の協力を得て開催できた事に感謝です。

民生委員
松坂真子さん
(末広町)

●心温まるエピソード
あるおばあちゃんから「おめさんくつど福の神来たようだの。ほつとする。まだ来てくれの。」と言われたことが忘れられません。民生委員をして12年目になりますが、地域の高齢者の方から逆に励まされて来たように思います。
●活動への思いなど
外に出て行けない人や、一人で暮らしている人の懸け橋になりたいです。誰も一人で悩まなくていいのです。関係機関と連携を取って、常に笑顔と元気で友愛訪問を続けていきたいですね。

地域の福祉を支えて

民生委員さんにお聞きしました

亀城学区社会福祉協議会
副会長 武田 正三

地域を温かい目で

学区社協は、市の福祉協議会が、酒田市の三町合併と同時に新たな組織として、全市一体となった地域福祉事業を推進して行こうという流れを受け、地域福祉の趣旨を遵守し、地域の誰もが安心して暮らせる福祉の町づくりを実現するためにあらゆる福祉にたずさわる協力員等々と推めてきたところです。

「新草根事業」については、学区社協も年間の生きがいふれあい事業の一端と捉え、押し進めてきたところで、参加されている住民の方々には、満足感を得ているところでもあります。老人の給食事業、介護予防講座、見守りネットワーク支援事業等々、このように何が皆さんのお手伝いになるのかと今も考えています。

自分でチェック

- 健康一口メモ
見直そう!!入浴習慣
ぬるめのお湯で半身浴
- ✓ チェック1
湯温は41℃以下にする
(ヨイフロと覚えてね)
 - ✓ チェック2
脱衣所・浴室は暖かく
 - 熱いお湯が好き
 - 肩までどっぷりつかると
 - 脱衣所・浴室が寒い

編集後記

次から次へと様々なアイデアが飛び交う和気あいあいとした編集会議。抜群のチームワークです！インタビュや写真にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。皆さんの人達の「思いやりの気持ち」、受け取ってください。(直)

平成24年度編集委員

阿部 宣子 田澤 薫
江口 暢子 矢野 信子
大江 美千 本間 宏
大場 直人 (五十音順)





資源回収の中心となって活動したエコボランティア委員会

車椅子寄贈で子ども達が地域に貢献
酒田市立亀城小学校

亀城小学校では、児童会のエコボランティア委員会を中心に牛乳パック、ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収に取り組んでいます。

そのうち牛乳パックの収益で、毎年松原・港南小と協力し、日本海総合病院に車椅子を寄贈しています。本年度も二月下旬に、車椅子二台の贈呈式を病院で行いました。

継続した取り組みにより、病院のロビーには二十台ほどの車椅子が置かれ、患者さんに利用していただいています。



ブロック大賞の賞状と楯を受け取る佐藤校長先生

「三コミ」活動に団体の部ブロック大賞
酒田市立第三中学校

毎年、三中学区の各自治会の協力を得て行っている地域活動（通称「三コミ」）が、ここを育む総合フォーラム主催「子どもたちのこころを育む活動」団体の部、北海道・東北ブロックのブロック大賞を受賞しました。

このフォーラムは日本人の心の荒廃に歯止めをかけたというねらいから設立された団体で、毎年、全国から活動事例を募集し、優れた活動を表彰しているものです。

この栄誉を励みにして、これからも地域の一員として、地域のためになる活動を進めていきたいと思っています。

地域の中で子育て支援

◎ひとりで頑張らなくてもいいんです

酒田ファミリーサポートセンターは、地域の中で安心して仕事と育児の両立ができ、ゆとりをもって子育てができるよう、平成9年に開設されました。

保育園・幼稚園までの送迎、協力会員さん宅での一時預かり。かわいい子どもさんから元気もらい、楽しく活動しています。亀城学区には3名のサブリダーがいて、センターが時間外の時など会員さんを繋ぐお手伝いをしています。ちょっぴり疲れた時など気軽に声をかけて下さい。年4回、子育てに役立つ研修会や会員同士の交流会も行われています。



☎酒田ファミリーサポートセンター
(酒田市交流ひろば内)
☎(0234) 26-5614

こんにちは赤ちゃん

子どもは家族の宝、地域の宝です。地域のめんごい赤ちゃんをご紹介します。

佐藤瑛人(えいと)ちゃん
東中の町 7ヶ月

誕生日がママと一日違いの瑛人ちゃん。明るく元気な思いやりのある子に育ってね。



志田怜美(れみ)ちゃん
末広町東部 9ヶ月

小5のお姉ちゃんがいつも面倒をみてくれます。だっこが大好き！賢い子になるといいなあ（お姉ちゃん）



佐藤郁吹(いぶき)ちゃん
亀ヶ崎二丁目 9ヶ月

パパが出張に行く直前に生まれてくれたいぶきちゃん。強く優しい人気者になってね。



亀城学区 赤ちゃんの人数は？（平成23年3月31日現在）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
49人	48人	49人	62人	60人	56人

日頃からの隣近所とのつきあいがとても大事です。サポートする方もされる方も互いに気持ち良く支え合いたいものです。隣近所との関係は、これから特に大事になります。おせっかいをやくことも大切ですね。(小林)



お話をしてくれた先生方
前列左より 小林 和也さん 須田 清女さん 五十嵐 牧子さん
後列左より 酒田市介護保険課予防支援係主任 船越 洋さん
酒田市地域包括支援センターはくちょう 主任介護支援専門員 鈴木 敦子さん
同 認知症地域支援推進員 小嶋 裕さん

わかっていくようで、やはり確認してほしい、住み慣れた地域で安心して暮らせる「しくみ」をわかりやすくお話ししていただきました。

介護保険と高齢者福祉サービス

第二回会員研修会 1月19日

こんな事業を行っています

高齢者福祉サービスについて

酒田市福祉課地域福祉係 主任 小林 和也さん

◆軽度生活援助事業

在宅の一人暮らし高齢者等の清掃やごみ出しなど（1時間以内）を援助します。（30分以上1時間以内210円、30分未満110円）

◆緊急通報システム事業

一人暮らしの高齢者等の緊急通報装置が必要と思われる方にお貸しします。（所得税非課税の方は無料、それ以外の方は1,450円/月）

◆介護保険ってどんな制度？

酒田市地域包括支援センターはくちょう 係長 須田 清女さん

寿命が延び、子どもが少なくなり、核家族の世帯が増えました。こうした中で、家族だけでなく、社会全体で介護を支える仕組みが必要です。

◆どうやって使うの？

- ①要支援・要介護認定の申請
- ②訪問調査員による調査
- ③認定審査会で審査
- ④要支援・要介護の認定

◆費用負担は？

自己負担1割、介護保険9割

◆介護サービスの種類は？

介護の程度によって、様々なサービスがあります。

地域での見守りについて

地域コーディネーター 五十嵐 牧子さん

地域の見守り対策から抜け落ちてしまう人は？というグループワークでは、見た目が健康な人、近所に親戚のいる人、関わり合いを拒否する人などが挙げられました。日頃の挨拶や、声かけの大切さを話し合いました。

誰もが「高齢者」になります。住み慣れた地域で安心して暮らすためには、支え合い・連携が必要です。いつまでも自分らしく元気でいるために運動と栄養、社会に関わりを持ちましょう。

お気軽にお問合せ下さい

酒田市福祉課 ☎265731
酒田市介護保険課 ☎265732
酒田市地域包括支援センター ☎210818
はくちょう

第1回標語入選者表彰式

明るく豊かな地域を目指して

亀城学区社会福祉協議会では、地域の一人ひとりが高齢者に関心と理解を深めることができるようにと、学区の皆さんから標語を募集し、1月12日に表彰式が行われました。受賞された方の声をお聞きました。

みなさんで笑顔の花を咲かせよう



亀城小1年 ごとうひろしくん 三小3年 輿石 亜弥さん
入選作品は回覧板にて紹介させていただきます。

じいちゃんとおばあちゃんもかってもまけてもらいがあ

毎日おじいちゃんとおばあちゃんに会っています。勝つのも負けてもおじいちゃんに笑っています。